

三宅島マクサ(毛草)・サザエ調査結果(5/22～23実施)

東京都島しょ農林水産総合センター大島事業所

マクサ(毛草)調査							
漁場番号	地区	漁場	調査水深	藻長(cm)	着生量 / m2	漁場評価	備考
	坪田	コオラ	4～6m	-	<50	D	ほとんど確認できなかった。
		坪田漁港の西側	4～6m	-	<50	D	ほとんど確認できなかった。
		坪田漁港の東側	7～9m	-	<50	D	ほとんど確認できなかった。
		アラキ	5～6m	-	<50	D	ほとんど確認できなかった。
	神着	湯の浜漁港の東側	11～15m	18.7cm	449	C	ハナ付きが多かった。
		湯の浜漁港の正面	7～9m	10.5cm	533	B	ハナ付きが多かった。
	伊豆	大久保浜の東側	7～9m	10.0cm	400	C	ハナ付きとヌマ付きが多かった。
		大久保漁港の東側	8～13m	9.7cm	391	C	ヌマ付きが多くみられた。
		大久保漁港の西側	8～13m	18.2cm	510	B	ヌマ付きが多くみられた。
		学校下(浅場)	8～11m	10.7cm	385	C	同じ場所の深場と比べて生育量が少ない。
		クズレイシ	7～12m	16.5cm	378	C	生育量少ない。ヌマ付きとハナ付きが多い。
		伊豆岬	7～12m	20.3cm	618	B	クズレイシより生育量多いが、全体的には少ない。ヌマ付きとハナ付きが多い。
		アゲハマ	7～12m	18.3cm	383	C	クズレイシより生育量多いが、全体的には少ない。ヌマ付きとハナ付きが多い。
		ハシガサキ	7～12m	13.4cm	602	B	伊豆岬一帯(クズレイシ～マタズシロ間)ではこことマタズシロが最も生育量が多い。ヌマ付きも多い。
		マタズシロ	8～10m	16.7cm	386	C	伊豆岬一帯(クズレイシ～マタズシロ間)ではこことハシガサキが最も生育量が多い。ヌマ付きも多い。
		学校下(深場)	13～19m	21.2cm	739	B	同じ場所の浅場より生育量が多かった。藻体も浅場より綺麗であった。

実際の生育状況はビデオ映像でご確認下さい。

坪田地区ではほとんど生育していなかったが、神着地区と伊豆地区では藻質はヌマ付きやハナ付きが多く、良くなかったが、まとめて生育している場所が多かった。

全体的に生育状態は悪く、まだ噴火前の状態には戻っていない。特に、噴火前の代表的な漁場であった坪田地区ではまだ壊滅状態が続

マクサ漁場評価の基準	
着生量1,000g以上	A
着生量500g以上1,000g未満	B
着生量50g以上500g未満	C
着生量50g未満	D

サザエ調査				
漁場番号	地区	漁場	調査水深	生息状況
	伊豆	学校下	13～19m	下根崎ほどではないが、比較的多くみられた。
	神着	下根崎の東側	9～13m	今回調査した5箇所の中で、この場所が圧倒的に多くみられた。
		オオネ	10～14m	下根崎や釜ノ尻ほど多くなかったが、そこそこみられた。
		釜ノ尻の南側	9～12m	下根崎ほどではないが、比較的多くみられた。
	坪田	三池港先端の北側	10～15m	オオネと同じくらいで、学校下や下根崎、釜ノ尻ほどはみられなかった。

実際の生息状況はビデオ映像でご確認下さい。

生育量が多い順に、下根崎 学校下 > 釜ノ尻 > オオネ > 三池港先端北側であった。

サザエはどの漁場でも岩の上に無造作に定着しているので、見つけやすかった。岩の隙間に居るのはほぼ100%ヤドカリであった。

サザエの殻長は115～117mm、体重は574～672gであった(3尾の平均値)。

調査員：滝尾健二
川辺勝俊(とりまとめ)
駒澤一郎
向山常比古
備 船：英丸(山田順一船長)

